

⑩ゆりはま子育てネットワーク くぶくぶ

現役の子育て世代とシニア世代が一緒になり、子ども遊び場や産後ケアを行う。月2回、定期的に子育て中の親子が集まる場を設けるなど、地域での子育て支援に取り組んでいる。

メンバーの1人、上山梓さん(34)は2020年3月に出産。コロナ禍により支援センターが閉まっていたため、一人での子育てを強いられ、「わが子かわいいけど、みんながこんなにしんどい思いをしているのか」と感じた。

湯梨浜町に産後ケア制度



遊び場、産後ケア 気軽に

子どもたちに遊びを教える
会員(左) 10月19日、湯梨
浜町はわい長瀬のハワイア
ンホール



はあったが、気軽に利用できなかつた。誰もが支援を受けられる体制を整えたいと考えていたところ、市川義章会長(69)らと出会い、22年4月に同ネットワークを結成した。

毎月第3日曜には「あそびの」を開催。シャボン玉やモルックなど、親子で

思い切り遊んでもらう。第1火曜の産後ケア「ぐくたママ」では、スタッフが赤ちゃんを見守り、母親はおしゃべりをしたり、アロママッサージを受けたりしてリラックスする。助産師を招き、母親の相談も受け付ける。上山さんは「大人も子どもも生きやすい地域にしたい」と語る。

同団体は鳥取県内の優れた地域づくり活動を表彰する「令和5年度令和新時代創造県民運動活動表彰」で協賛企業賞を受賞した。

市川会長は「事業継続のための自主財源がないのが課題」と言うものの、「同町のファミリーサポート事業とのコラボやワーケーションで、都会から訪れる家族をもてなすプログラムなども模索している」と前を向く。